



不二ラテックス株式会社

東京都千代田区神田錦町3-19-1 ☎ (03) 3293-5681

第76期 株主通信

2023年4月1日▶2024年3月31日



株主の皆様におかれましては、日頃より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
第76期（2023年4月1日～2024年3月31日）の株主通信をお届けいたします。

■ 社長のご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第76期は、コロナ禍からの経済活動の正常化が定着した一方、為替変動・物価上昇・中国経済の停滞・地政学的リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続きました。このような状況の下、当社は精密機器、医療機器及び各種ゴム製品の技術力を最大限に生かし、経営理念である「世界の人々の健康と豊かな暮らしに貢献する」を目指してまいりました。

これからも発展していくであろう人類社会に継続的に貢献できることを目指し、メーカーとして「ものづくり力」を更に磨き上げ、社会から信頼される企業を目指してまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
近藤 安弘

製造工程の再構築を通じた「ものづくり力」の強化

医療機器事業が展開する主力のヘルスケア部門については、国内市場向けは依然として少子高齢化に伴う市場縮小の傾向が続いており、取扱いアイテムの構成見直しと製造コストの削減による採算強化に取り組んでおりましたが、生産販売体制や新規設備の見直しと共に、設計や製造工程の再構築を通じた「ものづくり力」の強化に取り組み、徐々に成果がでてまいりました。

精密機器事業においては、国内外の製造関連企業を中心とした顧客ニーズに対応すべく、ハイレベルな製品開発、新たな非対面営業による提案営業の試み、QCDの強化に取り組んでおりますが、主力市場の需要低迷が想定以上に長期化し、売上面で苦戦した1年となりました。

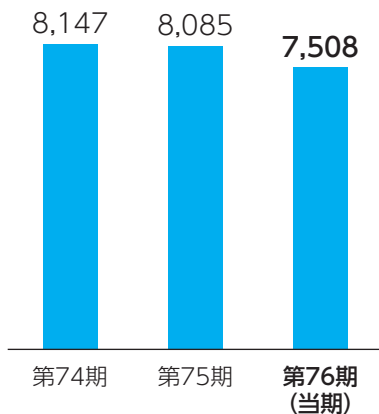
その結果、当連結会計年度の売上高は、7,508百万円と前年同期と比べ577百万円(△7.1%)の減少となりました。

また、利益面につきましては、生産合理化と投資計画の見直しや諸経費の節減と共に販売価格適正化に継続的に取り組まれましたが、売上高減少の影響が大きく、営業利益は439百万円と前年同期と比べ321百万円(△42.2%)の減益、経常利益は382百万円と前年同期と比べ347百万円(△47.7%)の減益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は289百万円と前年同期と比べ227百万円(△44.0%)の減益となりました。

連結財務ハイライト

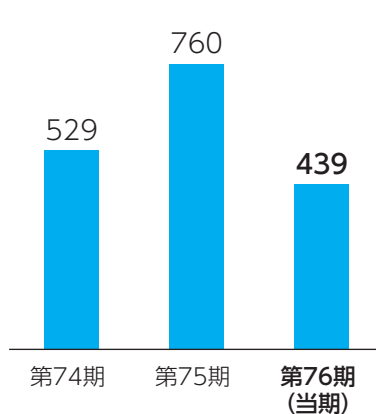
▶売上高 (百万円)

7,508百万円



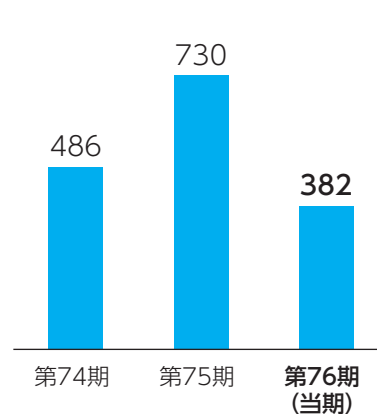
▶営業利益 (百万円)

439百万円



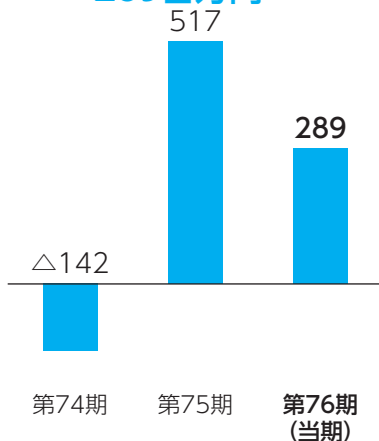
▶経常利益 (百万円)

382百万円



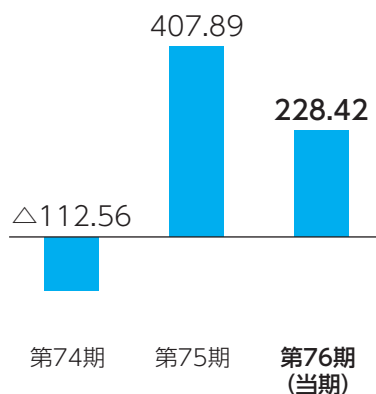
▶親会社株主に帰属する
当期純利益 (百万円)

289百万円



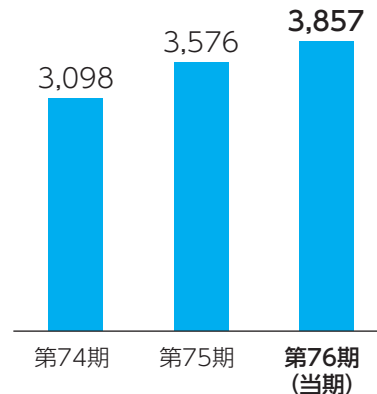
▶1株当たり当期純利益 (円)

228.42円



▶純資産 (百万円)

3,857百万円



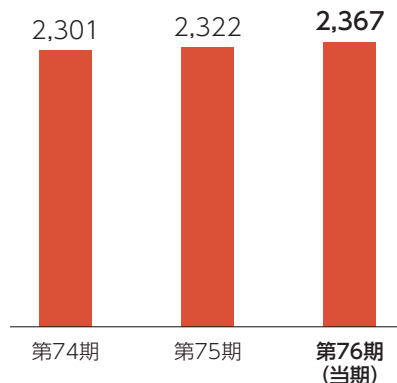
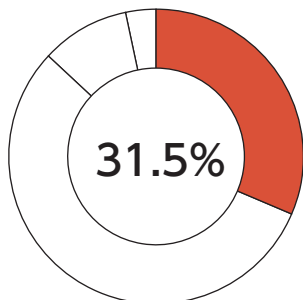
セグメント別の概況

医療機器事業

セグメント別売上高

2,367百万円

≫売上構成（当連結会計年度）



主力のコンドームは、国内市場においては採算を重視した製品・商品ラインナップの絞り込みと販売チャネル選択に注力いたしました。また、海外市場向けには前期比で出荷数が大幅に増加したほか、円安に伴う円ベースでの販売増加効果も売上底上げの要因となりました。

新素材コンドームSKYNの売上やメディカル製品の売上も堅調に推移いたしました。

利益面ではヘルスケア事業における不採算製品の見直し、販売費節減への継続的な取り組みに加えて、生産効率等の改善に向けた取り組みの効果が徐々に発揮されてきており、採算が大幅に改善しました。

また、メディカル製品につきましては、労務費の上昇や原料切替に伴う生産コストの上昇を生産効率化で吸収しきれませんでした。子会社の不二ライフの業績が好調に推移したことがセグメント利益を押し上げ、前期比増益となりました。

この結果、売上高は2,367百万円と前年同期と比べて44百万円（1.9%）の増加となりました。

セグメント利益は、5年ぶりに黒字を計上し、8百万円（前年同期は103百万円の損失）となりました。



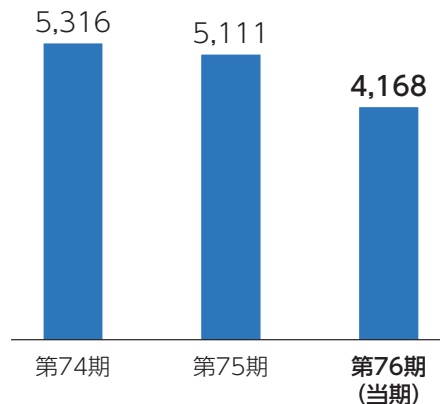
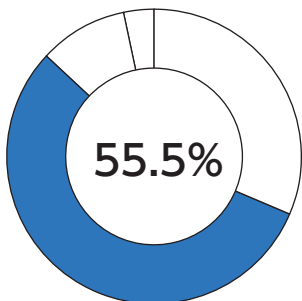
セグメント別の概況

精密機器事業

セグメント別売上高

4,168百万円

▶売上構成（当連結会計年度）



精密機器事業は一般産業機械市場の需要低迷が想定以上に長期化したことや、欧州市場の景気回復の遅れや中国市場の景気減速が影響し、一部の取引先業種で在庫調整が発生したこと等が重なり、大幅な減収となりました。

労務費の上昇や部材等のコスト上昇を生産の合理化と販売価格の適正化により吸収し、原価コントロールに努めましたが、売上減少の影響が大きく、販売費を含めた利益率の下押し要因となりました。

この結果、売上高は4,168百万円と前年同期と比べて942百万円（△18.4%）の減少となりました。

セグメント利益は、831百万円と前年同期と比べて391百万円（△32.0%）の減益となりました。



新固定式ショックアブソーバ
FNJ シリーズ

⌚ 耐久性向上

🏠 本体ステンレス仕様

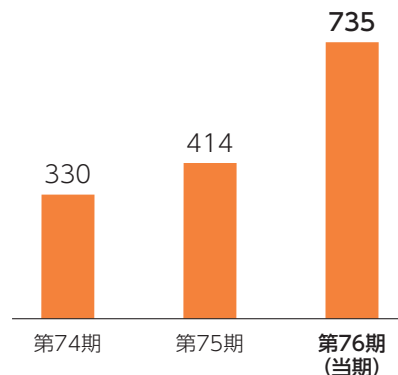
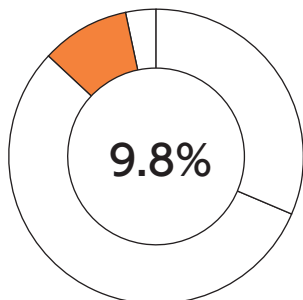
💧 食品機械用潤滑油採用

SP事業

セグメント別売上高

735百万円

»売上構成（当連結会計年度）



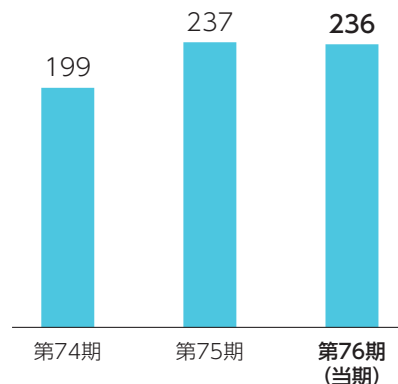
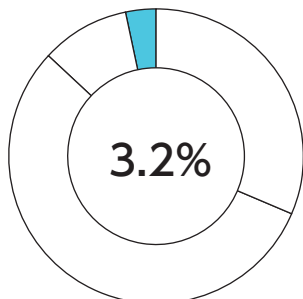
主力取引先に対して企画商品を中心にバルーンの販売が好調に推移いたしました。この結果、売上高は735百万円と前年同期と比べて320百万円（77.4%）の増加となりました。セグメント利益は、商品構成比の変更等に伴い計画比でコストが膨らみましたが、36百万円と前年同期と比べて19百万円（122.1%）の増益となりました。

食品容器事業

セグメント別売上高

236百万円

»売上構成（当連結会計年度）



海外向け販売が伸びず、売上計画を下回ったことにより、売上高は236百万円と前年同期と比べて0.2百万円（ $\Delta 0.1\%$ ）の減少となりました。セグメント利益は、労務費の上昇や原料切替に伴う生産コストの上昇を販売増加や生産効率化で吸収できず、29百万円と前年同期と比べ39百万円（ $\Delta 57.1\%$ ）の減益となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 2024年3月31日現在	前連結会計年度 2023年3月31日現在		当連結会計年度 2024年3月31日現在	前連結会計年度 2023年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	6,318,666	6,252,685	流動負債	4,819,131	5,052,164
現金及び預金	1,697,976	1,939,566	支払手形及び買掛金	274,353	329,415
受取手形及び売掛金	1,515,163	1,628,189	電子記録債務	888,341	915,493
電子記録債権	520,857	502,922	短期借入金	2,578,000	2,683,000
商品及び製品	742,411	651,649	1年内返済予定長期借入金	381,332	341,332
仕掛品	805,629	598,321	リース債務	94,177	110,321
原材料及び貯蔵品	885,958	855,086	未払法人税等	3,750	103,933
その他	150,740	77,177	未払消費税等	2,065	8,945
貸倒引当金	△70	△228	未払費用	230,288	225,234
固定資産	5,002,473	5,214,600	賞与引当金	218,114	206,005
有形固定資産	4,390,408	4,623,254	設備関係電子記録債務	16,669	20,201
建物及び構築物	2,223,950	2,357,526	その他	132,037	108,282
機械装置及び運搬具	114,167	168,014	固定負債	2,649,876	2,845,741
土地	1,777,718	1,777,718	社債	400,000	400,000
リース資産	226,214	279,814	長期借入金	1,792,524	1,873,856
建設仮勘定	2,823	0	リース債務	252,752	346,927
その他	45,534	40,181	再評価に係る繰延税金負債	127,115	127,115
無形固定資産	44,165	34,974	退職給付に係る負債	56,845	77,204
投資その他の資産	567,899	556,371	その他	20,638	20,638
投資有価証券	402,452	343,056	負債合計	7,469,007	7,897,906
繰延税金資産	156,273	198,285	(純資産の部)		
その他	9,172	15,029	株主資本	3,383,204	3,157,485
繰延資産	5,476	7,503	資本金	643,099	643,099
資産合計	11,326,615	11,474,789	資本剰余金	248,362	248,362
			利益剰余金	2,532,876	2,306,628
			自己株式	△41,134	△40,605
			その他の包括利益累計額	474,404	419,397
			純資産合計	3,857,608	3,576,883
			負債及び純資産合計	11,326,615	11,474,789

■ 連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度	前連結会計年度
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	7,508,117	8,085,388
売上原価	5,710,837	6,064,729
売上総利益	1,797,279	2,020,659
販売費及び一般管理費	1,357,548	1,259,716
営業利益	439,731	760,942
営業外収益	49,547	50,558
営業外費用	107,238	81,495
経常利益	382,039	730,006
特別損失	6,372	8,305
税金等調整前当期純利益	375,667	721,700
法人税等合計	86,013	204,388
当期純利益	289,654	517,312
親会社株主に帰属する当期純利益	289,654	517,312



■ 連結株主資本等変動計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：千円)

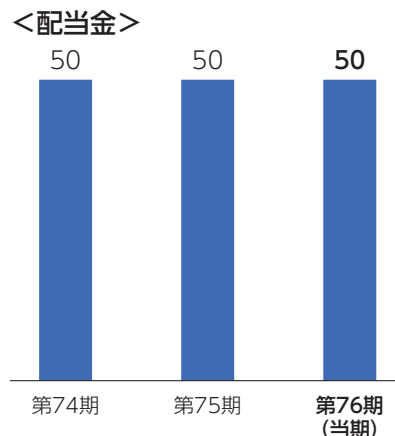
	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	643,099	248,362	2,306,628	△40,605	3,157,485	108,046	288,295	27,871	△4,816	419,397	3,576,883
当期変動額											
剰余金の配当			△63,406		△63,406						△63,406
親会社株主に帰属する当期純利益			289,654		289,654						289,654
自己株式の取得				△529	△529						△529
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						37,743		6,189	11,074	55,006	55,006
当期変動額合計	—	—	226,247	△529	225,718	37,743	—	6,189	11,074	55,006	280,724
当期末残高	643,099	248,362	2,532,876	△41,134	3,383,204	145,789	288,295	34,060	6,258	474,404	3,857,608

基本方針

当社は株主の皆様への利益還元を最重要経営課題のひとつとして位置付けており、企業体質の一層の充実・強化と将来に向けた積極的な事業展開を推進してまいります。この基本方針のもと、配当金につきましては業績に応じ、また適正な内部留保の充実、新規投資計画を考慮しつつ安定的な配当の継続に努めてまいります。

当事業年度の剰余金の配当

当事業年度の剰余金の配当につきましては、当事業年度の業績及び今後の事業環境や財務内容を総合的に勘案し、当事業年度末日（2024年3月31日）を基準日とする配当金を1株につき50円とさせていただくことを、2024年5月15日開催の取締役会において決議いたしました。



<経営理念>

《我が社の目的》

我が社は世界の人々の健康と豊かな暮らしに貢献し、人々に喜ばれ信頼される企業になる。

《我が社のあり方》

我が社は優れた製品を創造し、高度な品質管理の下で製造・販売を行い、収益力の高い企業になる。

《我々の志》

我々は志を高くし、仕事を通じて自己の成長を図るとともに、協調して会社の発展に尽力し社会に貢献する。

会社概要

■ 会社の概要 (2024年3月31日現在)

商 号 不二ラテックス株式会社
英 文 商 号 FUJI LATEX CO., LTD.
設 立 1949年3月
資 本 金 643,099,600円
当 社 H P <https://www.fujilatex.co.jp>

1. 当社グループの主要な事業内容

医療機器事業 コンドーム、水枕、ブロープカバーの製造及び販売
精密機器事業 緩衝器の製造及び販売
S P 事 業 バルーン、販売促進用品の販売
食品容器事業 食品容器の製造及び販売

2. 事業所所在地

本 社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1
大 阪 営 業 所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-7-3
名 古 屋 営 業 所 〒465-0025 名古屋市名東区上社4-202-5
福 岡 営 業 所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-11
栃 木 工 場 〒328-0006 栃木県栃木市国府町150
新 栃 木 工 場 〒328-0124 栃木県栃木市野中町1276
真 岡 工 場 〒321-4301 栃木県真岡市西田井1402-3
栃木千塚工場 〒328-0135 栃木県栃木市千塚町1705
ドイツ代表事務所

Königsallee 92A 40212 Düsseldorf,
Germany

3. 系列会社

不二ライフ株式会社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1
FUJI LATEX SHANGHAI CO., LTD.
Room 1113-1115, No.360,
Changshou Road, Putuo District,
Shanghai, China. 200060

■ 株式の状況 (2024年3月31日現在)

1. 概要

発行可能株式総数 3,000,000 株
発行済株式総数 1,286,199 株
株 主 数 1,697 名

2. 大株主（上位10名）

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
岡 本 昌 大	154	12.17
岡 本 和 大	143	11.32
岡 本 明 大	123	9.75
岡 本 和 子	104	8.25
不二ラテックス共栄会	70	5.59
岡 本 正 敏	34	2.69
(株) り そ な 銀 行	30	2.37
(株) 大 木	27	2.17
オ カ モ ト (株)	26	2.11
赤 松 直 起	24	1.89

(注) 持株数は表示単位未満を切り捨てて表示しており、持株比率は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

■ 役員 の 状 況 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長 近藤安弘 取締役等委員 畑山幹男
取締役 金原辰弥 *取締役等委員 深沢岳久
取締役 岡本昌大 *取締役等委員 大西恭二

* 社外取締役

株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
定時株主総会基準日	毎年3月31日
剰余金配当基準日	毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎ 0120-707-843
(電話照会先)	
同 取 次 窓 口	日本証券代行株式会社の支店及び三井住友信託銀行株式会社の本支店及び全国各支店 (「コンサルティングオフィス」「コンサルプラザ」を除く)
公 告 方 法	電子公告により行います。URLは以下のとおりとなります。 (URL https://www.fujilatex.co.jp) ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、日本証券代行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の日本証券代行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

不二ラテックス株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19-1

03-3293-5681

<https://www.fujilatex.co.jp>

